

平成29年度第10回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

- 1 日 時：平成30年2月20日（火）
午後1時30分～午後5時10分
- 2 場 所：鹿島区役所大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数14名

【出席委員名】 10名

五賀和雄、丹野常昭、多田和夫、松野豊喜、大塚悦子
豊田ミサ子、大内 彰、星ちづ子、西 道典、前田典郎

【欠席委員名】 4名

但野喜直、森 和浩、菅野行雄、渡部裕幸

委員の過半数が出席していることにより、本会議が成立していることを確認。

2 会長あいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

五賀会長が会議録署名人に前田典郎委員と丹野常昭委員を指名。

5 議事

(1) 協議事項

①鹿島区地域ビジョンの見直しについて

- 1) 会議の趣旨と実施方法の説明
- 2) 講師紹介

○鹿島区地域振興課長

これより議事に入ります。ここからの進行は会長をお願いします。

○五賀会長

それではこれより議事に入ります。(1)協議事項①鹿島区地域ビジョンの見直しについて 1) 会議の趣旨 2) 講師の紹介等の説明を事務局よりお願いします。

○鹿島区地域振興課振興係長

資料により説明

①鹿島区地域ビジョンの見直しについて

3) 講義

資料4を基に事例を踏まえながらパワーポイントを用いた講義をいただきました。

4) 協議

○小金澤先生

第2部に入る前にご質問等ありましたらお受けします。

○前田委員

参考になる話をありがとうございました。問題は財源ですね。財源はどうなりますか？

○小金澤先生

やはり、お金を掛けなければできないものは絶対にあります。ですが、お金を軽減すればできるもの、お金を掛けなくてもできるものもあります。そこを今後、皆さんから出していただいた意見を基におそらく重点的なプロジェクトとして更に再整理していく中で選択をしていかななくてはならないと思います。お金を掛けなくてはならないもの、優先的にしなければならないものをそこで見極めていかなければならない。やはり市も、財政的なものがあります。しかし、国の補助事業というものもあります。国も青天井の予算ではありませんが、優先的に若しくは早く引き出すためには、事業計画的に早めに申請をしていく。そういうアクションを皆さんで作るしかありませんが、そういったアイデアを出すことによって、それならばこういった国のメニュー(事業)があるよとこれならば県のこういうメニュー(事業)があるよと。

そういったものをうまく引き出すことができるかと思います。そうしていくことによってある程度、ノウハウを持っている方が優位に働きますのでみなさんがやりたいことをまず集めた中で、これはどうしても財政的に無理だとかいうものがあれば、どこからか財源を探すこともできます。そういったことを皆さんで議論していただいて、そこから先は私どももお手伝いすることもできますし、当然市の方もご存じですからそういったところを考えていくことによって、皆さんが実施したい、実現したいそういうものを作り上げていくことになるかと思います。

○小金澤先生

その他に何かお気づきの点などあればお受けします。なんでも結構です

○豊田委員

震災後、老人の方が外に出なくなりました。まずは、外に出てもらうことから始まるのではないかと考えています。まだ足腰は丈夫なのですが、家に籠っているので認知症にもなりかねない。声を掛けても外に出なくなりました。例えば歌謡ショーとかをやる時に「チケットあるから一緒に行こう」と言っても前は行っていたのに行かない。そういう場に引っ張り出す。私が震災前から考えていたことは、行政区で老人たちを集めてカセットテープで歌謡曲を流しながら踊りを踊ったり、地区や公会堂で集まったりする。最初は数人でも、楽しくなれば人も増えていくと思いますので、そういうことが先なのではないかと思っています。

○小金澤先生

やはり声を掛け合うことも非常に大事です。しゃべらなくなるとどんどん、どんどんお年寄りに限らず言葉を失っていきます。それから物理的な問題があるとすれば移動距離をどうするかですね。そういうことをどうすれば解消できるのかまた考えるのが皆さんでできるんですよ。

○豊田委員

今、お話を聞いていて今度区長さんに、こういうのはどうかと話をしてみようかと思っています。

○小金澤先生

やはり皆さんで知恵を出し合うことによってそういったことが実現していくと思います。皆さん有権者ですのでそれは対等にやっていただいて良いと思います。

○豊田委員

敬老会は年に1回あるのでそういう時は出てくる方もいますが、年々減ってきています。

○小金澤先生

やはり段々おっくうになる方もいらっしゃると思いますよね？よその成功事例で子どもさんが少ないところは難しいかもしれませんが、子どもさんといわゆるお孫さんクラスとの交流をつくることによってかなり元気になれる。

○豊田委員

それはまちでやったりしていますから。ただ、子どもが少ないので。

○小金澤先生

最近施設を新設する場合、保育所や幼稚園と老人福祉施設を隣接させて、老人には刺激を与えて元気にさせる効果があり、子どもについてはお年寄りを敬う効果があります。毎週、毎日の交流は難しいと思いますが、そういう企画はあると思います。ぜひ議論されて、実現化するように。

○豊田委員

場所さえあればできるので、声かけて最初は小さくやってみようと思います。

○小金澤先生

では、皆さんにいただいた意見を資料3にまとめています。これを改めて見ていただいて。これは皆さんの意見を市の復興総合計画ごとに再整理されたものです。この意見を基に大変見づらくて恐縮ですが、資料5に再整理しています。資料5の一番上にテーマ、スローガンのものが載ってしまっていて、その下の薄茶色の色の付いたものが市の復興総合計画の方針です。その縦方向下に皆さんからもらった意見を向きを変えて落とし込んでいます。

これを見ていただいて分かるように皆さんの意見で関心が高かったものはおのずと縦が長いです。棒グラフではありませんが、例えば一番左側にある「1. 地域の特性を見つめなおし、産業と交流がさかんなまちづくり」、「2. 健康で安心して暮らすことができるまちづくり」これらは長いですよね？また、「4. 環境にやさしく、快適に暮らせるまちづくり」、これは幅を広くしていますが、これが一番長かったです。こういったところで皆さんの意見が非常に多かったです。このように、皆さんの関心が高いところを中心に改めて委員の皆さんの意見を聞かせていただいて、次のビジョンの見直しに向けた整理をしていきたいと思っています。

資料5に重点プロジェクト(案)ということでメモ欄として空欄を作りました。私の手元には前回、理想の取り組みということで委員の方々から意見をいただいた総括表もいただいております。ここへは同じ言葉が落とし込まれると思いますが、一応ここを考えながら、意見をいただき、メモ代わりに使っていただければと思います。この表の見方としては、市の復興総合計画の分野ごとの項目に合ったものを皆さんの意見として青い文字で落とし込んでいます。そして、一番下に帯がありますが、これがアウトプットイメージ

の着地点的なものかなということで、書きました。鹿島区がめざすものから住み続けたいまちづくり。「住みたいまちづくり」というのは全国各地にあります。住み続けたい」というのはやはりそこはいいからだということで、簡単に入ってきて出ていくのではなく、住み続けたいまちづくり。そのためには何が必要かということで、「ひと・こと・もの」、「ひと」は皆さんですね。人的資源です。人がいなければその地域は発展しません。それから“こと”というのはいわゆるお祭りや生業とかが“こと”として形としてある。それから“もの”、物産を含めていろいろありますがそれを活かしていくか発展させていくかということで「ひと・こと・もの」の文化的資源継承としました。この継承させることがいかに重要かということですね。そして新たな顔づくり、新たな鹿島をどうするか。そしてそのためには皆さん相互が連携するだけではなく、いろんな方たちといろんな組織、いろんな地域と連携していくことによって相乗的に高めていくと。ただ、それだけではなく私が思うのは最後のところに書きましたが、住民が享受できる仕組みでなければ意味がないと思っています。私もボランティアをしていますが、ボランティアだけが目的ではなくて、ボランティアをやって自分に返るものがないとダメなんですよ。それが時には金銭であったり、時には喜びであったり、それがなくてただただ汗をかいていてもこれでいいのかな？と思ってしまうんですが、やはり時には誰かに「ありがとう」と一言言われるだけで「やって良かったな」とそういう意味で住民である皆さんが享受できるものでなければ続かないのです。ですから、そういう仕組みでなければならぬ。そうすると、持続可能なまちづくりというところで最後のキーワードになってくるということで、こういう着地点を描いていく中で皆さんが同じように意見を出されている訳です。これだけたくさんあります。この中でやはり一気に全部を議論したら合宿をしても間に合いませんので、この中から取捨選択していかなければなりません。それが前回「産業、福祉、災害、環境、教育、コミュニティ」という形で皆さんから挙げた意見をホワイトボードでまとめていると思います。その内容は私の手元にもいただいています。ここで挙げた内容がおそらくキーワードとして挙げてくるのだと思います。例として産業の分野で挙げた意見の中で、皆さんは企業誘致というところでいうとどういった企業を求めていますか？

○丹野副会長

小さい町工場が多くあるよりは、国策事業のような大きな会社。相馬でいえば IHI のような会社。そういうのがほしいという声が多いです。3つの区で南相馬市ですが、区ごとに課題があります。小高区は子どもたちが戻ってこない。

原町区は働く場所がないから若者が来ない。鹿島区は20km、30kmの格差で不平不満が出ました。区長会で声が出ているのは大きい会社がほしいというものです。大きく言えばトヨタ自動車とか。南相馬市にロボットテストフィールドができますが、あれで雇用が生まれるか心配の声があります。

○小金澤先生

企業誘致は市の活動としてされていますか？

○事務局

行っています。

○小金澤先生

工業団地、工業用地は準備されている？

○事務局

はい。

○小金澤先生

ですよね。問題は特典ですかね。たぶん企業が選ぶ場合は欲しいんですよね。各自治体がやっていることでいうと、税の優遇措置とか最初の3年間設けますよとか。やはりあとは風評被害。これは避けては通れません。地域によっては工業製品でさえも汚染されていると思う人がいます。なので、そういった製品のイメージをどう変えていくかもあるかと思えます。

○丹野副会長

第一原発の廃炉に関する県民会議というのがあります。双葉地方、いわき、南相馬、川俣、飯館から住民の代表が参加します。風評被害は心の問題だと思うと発言してきました。これは原発事故当時、国や専門家がいい加減な発言をしたので信頼できなくなったことが原因だと思います。

○小金澤先生

この問題は南相馬市以外の地域社会が声を上げなければならない問題で、そこが不徹底のため忘れていってしまう。それではここから馬をテーマに語りたと思います。野馬追の馬を活用して1年間を通してできることはないでしょうか？私が他の地方に行ってもテレビで流れていました。野馬追は全国区の神事です。野馬追をまちづくりの中に取り込むきっかけはあると考えています。ただ、馬を飼っている方によってはあくまでも野馬追のためだからという方もいらっしゃるでしょうし、ペットのように飼っている方もいらっしゃると思いますが馬を活用した意見はありますか？

○西委員

やってみようと思って動けなかったことが1つありまして、セブンイレブンに馬に乗って買い物に行くって面白いねという話をしていました。古墳などを見て回ってコンビニで買い物をする。馬が好きな人は興味があると思

ました。

○小金澤先生

馬を使いたいという人で集まって、観光地に行けば公道は走っていませんが、野山を馬で散策したりしています。ただ、日本の場合いろいろな制度が邪魔をします。道路交通法だとか。ルートや、やり方によってはなくはないと思います。南相馬市のお巡りさんは馬に乗っているとかよそに無いような話題を作り上げていくことが大事です。今、外国人観光客が日本に訪れる情報源はSNSです。情報発信がいかに大事か。今のような話を本気で考えるそういう人が必要です。やはり馬のキーワードを活かせる地域なのかと思います。

皆さんがこれはやりたいと思うことの意見をいただきたいと思います。

○前田委員

賛否両論あると思いますが、野馬追の馬に限定して馬券を売って毎月野馬追競馬をやってはどうか？これは教育上よろしくないのあまりよろしくないと思いますが、先生はどう思われますか？

○小金澤先生

IRを国は進めています、ギャンブルがいけないという訳ではなくて依存症が出る危険性があるので反対の方が多い。そのためIRを進めている地域は依存症対策も考えているようです。野馬追は神事ですので難しいかもしれませんが、馬という資源があることは事実ですので活かし方だと思います。外の人から見れば日常的に馬が見られるなんてないですからね。街なかに馬が歩いていけば私から見るとオシャレだと思います。

○五賀会長

野馬追は確かに世界的な文化ということで知られている訳ですが、野馬追を見に来る人は限られていて伸び悩んでいます。野馬追は3日間しかありません。先ほど先生がおっしゃったように南相馬市に来れば馬が見られる。馬と接することができるそういうものに繋げていかないと野馬追は交流人口を増やすことができないのが問題です。馬に乗る。馬車に乗る。野馬追の甲冑を着られる。そういうものを増やして南相馬市に行けば野馬追だと。野馬追の実情を体験できるものに繋げていかなければ発展しないと思います。

○小金澤先生

私が瞬間的に思ったのはマスコミにリークする。野馬追は3日間しかありませんから、3日間の前の準備から見せる。川越も川越祭りで使うものの組み立ての段階から見せるということを行います。野馬追も3日間に限定せず、前後がある。そうすれば前後1週間くらいは集客が見込めるのではないかと思います。野馬追は分かりやすいテーマだと思って投げかけさせていただ

きました。まちづくりは南相馬市固有の資源でよそに無いものをいかに活用するかということをもう一度考えてみる。その中には突拍子もない意見もあるかと思いますが、会議・議論を進めることは無駄ではありません。最後に皆さんからこれだけはやりたいというものを発表していただいて、まとめに入りたいと思います。それがビジョンの優先順位となります。

○前田委員

特産品となる梨ジュースや御本陣、甘酒を製造する施設を南相馬市に造って販売価格を下げたいです。

○大塚委員

6次化は取り組んでいます、手間がかかります。問題は売り先が固定されていて、売り先を拡大するというのが大変です。ネットで販売すると売れるのですが、最終的に組合員が作ったものをいかに付加価値を付けて売るかということを試行錯誤してやっています。安くしろと言われてもなかなか難しいです。

○小金澤先生

商品が妥当かどうかというのは味・クオリティ、商品のパッケージ販路の拡大は正攻法でやっていくのは難しい。著名人にうまい！と言ってもらえれば売れる。そういったことも戦略として考える。

○大塚委員

有名な人を頼むとCM料がかかります。

○小金澤先生

それはかからない形でニュースに取り上げてもらうなり、テレビ局や新聞社とのネットワークが大事です。メディアを使うと広報効果が高いです。

この中で気になることを一言ずつ順番でお願いします。

○五賀会長

企業誘致。旧鹿島町時代から誘致に失敗しています。それは土地がなかったためです。そういう教訓を繰り返さないためにも土地を確保する。震災後仮設住宅跡地を元の状態に戻すようなので、それを有効活用して進めるべきだと考えます。

○丹野副会長

私は「子どもが住みたいと思える町」が大事だと思います。ここを吟味していかなければまちが無くなってしまいます。

○多田委員

人が少ないのが問題で人口減少対策が大事だと思います。企業誘致、若者が働ける環境、医者、学校の書いてありますが、医者に限らず学校ができれば人が増えると思います。

○松野委員

スーパーには駐車場がありますが、商店街・商工会周辺に駐車場がありません。野馬追での観光という話が出ましたが、それだけでは一年を通しては難しい。四季で何かイベントをとと思います。

○大塚委員

農業が主流のまちでしたが、米の値段が下がって農家だけでは生活ができない状態となりました。このために商業や産業に人が流れてしまいました。まずは根本的な生産手段をなんとかしていかなければならないと考えます。

○豊田委員

安い介護施設。年金が少ないので必要だと思えます。子育てに力を入れているのに産婦人科が少ない。健康寿命日本一も大事だと思えます。

○前田委員

鹿島区の人に旅行に対し補助を出しPRをしてもらう。

○西委員

子どもが乗馬できるように。特色ある教育。子どもが増えないと意味がないです。鹿島の学校に行くと馬に乗れるようになるということにしたい。化石を利用して教育旅行に来てもらう。ここが発展するには子どもが大事です。

○星委員

先ほどから梨ジュースが高いという話ですが、100%の梨ジュースはありません。他の地域に売りに行っても高いと言われたことはありませんし、セドッテでも完売しています。

○大内委員

安い介護施設とありますが、介護士、看護師の不足があります。施設があるが、世話をする人がいないので、補充してもらう、育ててもらうということをやっていただきたい。

○小金澤先生

皆さんからの意見を具体的にどうしていくかということは皆さんの力・行政との連携、他地域との連携、そこには官民諸団体を含めて今の時代は助け合って作り上げていく時代となりました。全部自分だけでやっていこうと思っただけではいけない。大いに皆さんで議論していただいて持続可能な鹿島にしていくためにワーキンググループのような下部組織を作ってもいいと思います。議論するだけでなく、行動に移すことが大事だと思います。またこういう話ができる機会があればぜひ、1つ1つを具体的に解決していければと思います。本日はこれで終了したいと思います。ありがとうございました。

○鹿島区地域振興課長

ではまた後でお話しがあるかとは思いますが、ビジョンについて3月にも

う一度地域協議会を開きまして、最終骨格まで案として作りたいと考えておりますので、また委員さんのご協力よろしくお願ひしたいと思ひます。また、本日は小金澤先生にはお忙しい中出席していただきましてありがとうございます。今後はともよろしくお願ひします。もう一度大きな拍手で終了とさせていただきます。ここで一時休憩とします。その後報告事項に入りたいと思ひます。

～一時休憩～

(2) 報告事項 ①南相馬市小高区商業施設設置について

○五賀会長

では、休憩前に引き続き会議を開きたいと思ひます。報告事項「①南相馬市小高区商業施設設置について」担当より説明を求めます。

○小高区産業建設課長

概要説明

○小高区産業建設課商工観光係長

資料により説明

○五賀会長

只今、担当より説明が終わりました。質問等ございましたらお受けいたします。

○前田委員

1点目は資料1の5スケジュールに記載されている工事請負契約についてです。これは競争入札で行ったのですか？それとも随意契約で行ったのですか？2点目は4条例の概要に「食料品及び日用雑貨等の販売に関する事」とありますが、アルコール類は置くのでしょうか？3点目は事業の目的の中に「初期投資経費を回収できない等の理由から、民間事業者の出店の見込みがたっていない」とあり、施設は市で建てるという内容がありますが、指定管理者として手を挙げる業者はいるのでしょうか？いなければ誰がやるのでしょうか？

○小高区産業建設課商工観光係長

1つ目の質問の入札につきましては指名競争入札で行いました。2番目の質問のアルコール類につきましては置く予定です。3点目の指定管理者についてですが、平成29年7月に運営に意欲のある事業者を募集しまして店舗のレイアウト等の内容を見ていただきました。その時に3社お見えになりまして、その後も2社につきましては帰還人口予測などの問い合わせがありますので、今のところ2社は公募に手を挙げていただけると考えております。

○前田委員

頑張ってください。

○小高区産業建設課商工観光係長

ありがとうございます。

○丹野副会長

こういう施設を造って住民の帰還を促すことは大事なことだと思います。ここで記載されている平成29年12月12日現在の居住人口が1,076世帯、2,371人は震災前の人口の約何%くらいになるのかお聞きしたいのと、小高病院の場合も地域協議会で説明をしまして私がその時「小高区の人たちは案に賛成なのですか？」という質問をしました。その時、担当から「大丈夫です」という回答をいただきましたが議会では反対となりました。小高区の中でも人口が戻ってこないのに箱ものを造っても意味がないという声も一部あると聞いています。今回の商業施設は病院と同じようなことになることはありませんか？

○小高区産業建設課長

議会の対策という形かと思いますが、商業施設の着手に対しましては議会の承認を得まして予算が可決しております。それを持ちまして事業着手、工事発注という流れになっておりますのでこれが無くなることはないと思っております。

○丹野副会長

このまま予定どおり進めることで安心してよろしいでしょうか？

○小高区産業建設課長

はい。そのとおりであります。それから人口ですが、震災前の人口は12,834人ですので、約20%となります。

○大塚委員

最終的に戻る予定者はどのくらいでしょうか？また、戸数は？この施設を建てて働く人はいるのでしょうか？

○小高区産業建設課長

人口予測ですが、まちひとしごと創生総合戦略の中では平成32年度4,722名の予測が出ています。

○大塚委員

1世帯当たり2名の平均ですので、倍なので人口となった場合1,000軒を増えるということですか？

○小高区産業建設課長

予測からすると委員お話しのとおりです。今現在企画課でこの数字の見直しを行っています。

○小高区産業建設課商工観光係長

商業施設で働く方については小高区の駅前にある仮設店舗の東町エンガワ商店でパートの方が5名ほどいらっしゃいます。商業施設ができましたら、仮設店舗は終了となります。今勤めているパートの方々は商業施設で働く意向を示しておりますので従業員の確保は可能かと思えます。後は指定管理者の採用もあると思えます。

○五賀会長

他にありますか？他にないようですので（2）報告事項を「①南相馬市小高区商業施設設置について」了承することとします。

報告事項「②平成30年当初予算の概要について」

○五賀会長

次に（2）報告事項「②平成30年当初予算の概要について」担当より説明を求めます。

○鹿島区地域振興課長

資料により説明

○五賀会長

只今、担当より説明が終わりました。質問等ございましたらお受けいたします。

○前田委員

一番裏の8番鹿島中学校バリアフリー化事業について多目的トイレの設置とありますが、小学校は既に洋式トイレになっているのでしょうか？2点目は鳥獣被害防止の事業が何点かありますが、市で捕獲した動物の供養をしたことはありますか？3点目は9番の不法投棄対策事業です。御山の願阿弥田堤と上柘窪の飯館寄りにある鳥居が赤く塗りなおされました。ただ、ふるさと林道の鳥居もやっていただきたいです。4点目は6番の南相馬市鹿島区不採算地区公的病院等運営費補助金について赤字対策について運営委員会等で何か話はありましたか？

○鹿島区地域振興課長

小学校の洋式トイレについては設置していると聞いております。6番の不採算地区の部分については、こちらは鹿島厚生病院の赤字分について厚生連の方から赤字の補てんをしていただいているところです。ただ、厚生病院としては約1億円の赤字が毎年出ています。国の制度の中で特別交付税という形で約6割国から市に来ております。その上限を決め、市から厚生病院へ補助している状況です。まだ、赤字解消のための病院経営をするようお願いしているところですが、まだ方策は示されていません。市の方としても毎年数千万円程度のお金を補助しているわけですので、厚生病院及び厚生連へ

は赤字解消のための方策を取ってほしいという話はしているところです。

○鹿島区産業建設課長

有害鳥獣の供養についてですが、私どもとしては農作物の被害が出て困るという動物を処分していますので、供養は行っておりません。震災後、家畜をやむを得ず殺処分した経過がございました。その関係から家畜に関しては県の方で一括して供養を行った経過はございます。鳥獣の供養は今後も行う経過はありません。

○鹿島区市民福祉課長

9番の不法投棄対策事の赤鳥居の件ですが、30年度の当初予算に赤鳥居の設置について要望したところですが、査定の中で通りませんでした。赤鳥居の作成、設置に取り組んでいるまちづくり委員会もありまして、上真野まちづくり委員会の環境部会の中で赤鳥居の設置について取組むということもありますので、環境部会と連絡協議をしながらふるさと林道の部分について確認をさせていただき、修繕が必要であれば修繕、または新しいものに取り換えるのであれば取り換えるという対応を協議していきたいと思います。

○大塚委員

有害鳥獣ではありませんが、農協で組合座談会をした際に野ネズミが農業再興するにあたって繁殖しているので農協に駆除をお願いしたいという話がありました。前はまち全体でやっていた気がするのですが地域全体でやらないと野ネズミ退治にならないと思います。何年かに1度でもいいので取り組んでもらえないでしょうか？いい事業は残してもらいたいです。

○鹿島区産業建設課長

野ネズミ駆除の件ですが、合併後も数年間は行っていました。野ネズミ駆除のために薬品を使用していました。ネズミだけではなく、猫や犬がそれを食べて具合が悪くなり、段々尻つぼみとなった経過があります。今、話を聞きますと被害があるようですので、どういったことで対応が可能か本庁とも相談をしながら被害防止対策を検討させていただきたいと思います。

○大塚委員

春の衛生消毒も以前はやっていました。合併してから無くなったと思います。こちらもやっていただきたいです。

○鹿島区産業建設課長

その点も併せて今後の検討課題とさせていただきたいと思います。

○大内委員

5番の被災者支援格差解消事業についてお聞きします。関係機関と協議を行うと書いてありますが、具体的な見通し等はございますか？

○鹿島区地域振興課長

まず、高速料金の無料化についてですが、現在NEXCOが無償で30km圏内及び双葉郡にはやっているということで、NEXCOが全て負担していると聞いています。4月以降はカードを作って30km圏内の方は通行できるようにするというので先に動いている関係上、それが30km圏外の方でお願いした場合、対応できるかどうかを含めて協議をするということになっています。実際、全国にある料金所の機械の改修をした場合どれくらいかかるのか、通行カードにどれくらいの費用がかかるのか。この部分と、利用者の通行分の料金は市で負担することになると思われますので、できるだけ早い時期に、対応できる方法も含めて今から検討するところです。大変申し訳ございませんが、もう少し時間をいただきたいと思っております。

○丹野副会長

今の問題は30km圏外の鹿島区にとっては大変重要な問題です。これは早急に実現してほしいですし、医療費の問題はどうなるのでしょうか？もう1点が20番の街なかおもてなし事業についてこの予算を今までであった観光案内マップの増刷に使うのではなく、マップの見直しや鹿島の観光地の見直しも含めてこの予算はどういったことに使うのか具体的に教えてください。

○鹿島区地域振興課長

まず、無料化の話ですが高速道路の無料化についてどういう形でできるかも含めて検討をしています。NEXCOでできなくて全て市で負担しますので、償還払いにするのかということも含めて検討していきます。どういった形でできるのかということを含めて前向きに検討していきます。その他の格差是正に該当するのは医療費、介護保険料、国民健康保険料等々あると思います。それらも検討することになっています。

○丹野副会長

検討をされていて時間切れになってはまずいので、時間切れになる前に30km圏外の鹿島区も少しいい夢を見てみたいから急いでいただきたいです。

○鹿島区地域振興課長

できるだけ早い時期に対応できるようにということで協議を内部でしている部分がありますが、国交省やネクスコの方とも協議を進めて、対応していきたいと思います。

○鹿島区産業建設課長

20番の街なかおもてなし事業の件ですが、マップの増刷が示されています。丹野副会長が仰るように現在万葉姫の形をしたマップがあります。その増刷を考えています。また今年度鹿島区内の観光地として海岸のシャリンバイですとか宝蔵寺とか日吉神社等の一覧を作成中です。それを3月までには印刷配布したいと考えておまして、その分の見直しと万葉姫の形のマッ

プの見直しを含めて増刷したいと考えています。また、ここに街なかおもてなしとあるように、それぞれの地区から街なかに誘導する試みの一環として街なかではないですが、港まつりにセデッテのお客さんをバスで誘導できないかということで今年初めての企画ですが、バスを運行しましてどれくらいの人がお祭りに来ていただけるか実験的に行う予定です。

○前田委員

鹿島区内に待機児童は何人いますか？新市長の公約の進捗状況はどうなっていますか？

○鹿島区地域振興課長

待機児童の数について区ごとに分けて集計はしておりませんでした。12月1日現在は南相馬市で110名の待機児童がいるということでご理解ください。

公約については市長就任から1か月経っていません。これまで市長の引継ぎ事項ということで、各部門で市長とのレクチャーの時間がありました。早急に行うものと時間をかけてもやむを得ないものの指示がでています。それを各部署においてどういう対応をしていくか検討しているところで取り掛かれるものは取り掛かりたいと考えています。

○前田委員

小高区の病院問題です。議会で否決された案はどういう修正案を示す予定ですか？

○鹿島区役所長

小高病院の件については先ほど鹿島区地域振興課長が話をしたとおり各部門別でミーティングをしております。3月議会の案件にはまだ乗っていないと思います。近いうちには結論は出さなければならないので存続ということで市長の公約にもありますのでそういう方向で進むものと思われれます。本議会に間に合わなければ臨時議会も視野に入れての判断だと思っております。

○前田委員

小高病院で7000万円の赤字が出るので原町の総合病院へ統合する案が出されて否決されましたが、鹿島区の厚生病院は7000万円を支払っています。鹿島区は優遇されているのですか？

○鹿島区役所長

同じ病院という形でいえばそういう考え方も成り立つかと思いますが、鹿島区の厚生病院については事業にもありますように不採算地区ということで国からの特別交付税が措置されております。そういう関係で鹿島区にはなくてはならない病院ということで存続するための一環として補助をしていたところです。小高区の病院の存続については政治判断が強いと思われるので不

公平感というのはまた別次元の話になると思います。

○松野委員

2番の集会施設整備事業補助金について29年度は1500万円の上限だったと記憶しています。30年度は1100万円に下がったという認識でよろしいか。16番の水産業共同利用施設復興事業これは漁協の最後の復興事業だと思います。復興庁から連絡は来ていますか？

○鹿島区地域振興課長

まず1点目の集会所について震災・津波地震での大規模倒壊した建物や津波で流された建物については1500万円以上は上限は変わっておりません。ただ、寺内行政区については老朽化によるものですので震災によるものではないものについては1100万円が上限です。改修を必要とする理由によって上限額が変わるということをご理解いただきたいと思います。

○鹿島区産業建設課長

復興庁から何の件についての連絡でしたでしょうか？聞き取れず申し訳ございません。

○松野委員

27年度から29年度で造った船はこの支援がなく、自分たちの金で払うのかということで水産庁から来た職員に質しました。その職員はそれは復興庁だということで、復興庁と話をしたところ事業を立ち上げることは難しいので南相馬市については16番の水産業共同利用施設復興整備事業オイルフェンス設置工事が残っているので、この事業の中で船への補助を行ってもらうように復興庁にいうということだったので、その後市に復興庁から何か連絡が来ているか聞きたかったです。

○鹿島区産業建設課長

今の課題ですが、今初めて聞いた話でした。鹿島区役所には復興庁から連絡が来ていないと思われま。本庁に来ていないか確認をします。その上で松野委員へ連絡させていただきます。

○五賀会長

15番の営農再開支援農地保全管理事業補助金の442.46haこれは復興組合という組織の中に該当する補助なのか。であれば去年と比べてこの面積はどうだったのか。10a当たりの補助額はどれくらいなのか。また、4番の消防施設の整備事業ですが、屯所建設工事は以前地元負担があったと思いますがそれは無くなり、かかった分全て補助となるのか伺います。

○鹿島区産業建設課長

ご質問の営農再開支援の補助金は会長仰るとおり鹿島地域農業復興組合、八沢地域農業復興組合に補助金を支出をしています。対象は津波を被った農

地を対象では場整備が済んだところはこの事業の対象外となります。面積はすぐには出ませんが金額にすると去年はおおよそ2億円。今年はほ場整備が終わり農地の復旧ができているということでその分の面積が除かれ、お示しの通り1億1500万ほどとなっております。単価については田畑対象になり、どちらも1反当たり35,000円となっております。

○鹿島区地域振興課長

消防施設関係ですが、ホース乾燥塔が約130万円ほどで残りが屯所です。南相馬市になってから屯所及びホース乾燥塔（火の見やぐら）については市が管理しています。昔、行政区の負担で屯所等を造っていただきましたがそれを無償譲渡していただき、市が全て老朽化したものの改修や修繕を行っています。

○五賀会長

屯所は集会施設よりは小規模で建物自体大きくはない。集会施設は1100万円という上限がありますが、屯所の補助額との関係がおかしくなると思いますが、造るもの全部補助するとなると無差別のように思えるのですが。

○鹿島区地域振興課長

市で発注して市で建てます。それに係る設計費、解体費を含めて3000万です。そして今回、小島田の屯所については2分団の詰め所にもなっているということで、各行政区で造る屯所より若干大きめの屯所を造ることになりますのでそれぐらいかかるという積算を出したところです。

○前田委員

最後のページの鹿島区自治振興基金の積立額は初年度いくらあったのですか？積立額は何ですか？今回の額の明細は？

○鹿島区地域振興課長

基金については合併当時基金を創っておりまして、地域予算ということで地域で割り振られた予算に余りが出た際に一部積んでおりました。その後、毎年区内で必要な事業で予算が付けられないものについては、地域協議会委員の了解を得た上でここから取り崩し充当した経過があります。今回の積立額の明細については835万円の内約800万円がサテライトかしまから入ってきています。今までは覚書に則り南柚木地区の道路とか建物の修繕に充てていた経過がありますが、今回おおよそ整備が終わったということで一部を基金に積み立てることとなりました。合併当初の基金は4億1845万円ほどあったということです。その途中で先ほどお話ししたとおり事業へ充てていたということです。

○前田委員

その明細を教えてください。

○鹿島区地域振興課長

主なものについてご報告いたします。18年度については地域福祉計画推進員謝礼あとはパークゴルフ場の整備等に係る経費4000万円。19年度は同じく地域福祉計画推進員謝礼、チャイルドシート購入、自転車通学へのヘルメットの公助、野馬追事業補助金、図書購入、遠距離通学の補助、高齢者賀寿事業について使っているようです。20年度には財調繰入金に一部入れました。21年度以降は中小企業融資利子補充、車の購入。総額約1億数千円もの金額になっています。

○前田委員

これは議会の承認がいらずに地域協議会の判断で行っているものですか？

○鹿島区地域振興課長

充当するものについては最終的には議会の承認が必要です。地域協議会へこういうものに充当するということを承認を得た上で議会へ挙げている経過です。

○前田委員

いじめ問題について第三者委員会から報告されたようですが、損害賠償裁判があると思いますので市として遺族へ謝罪に行く考えはありますか？

○鹿島区役所長

いじめ問題については新聞等で報道のとおりです。まずは議会の全員協議会に報告する前に遺族へ報告を申し上げると。そして本議会にいじめ対策関連の防止条例案をあげることで進んでいます。今お話しのある慰謝料については今後の話になると思います。

○五賀会長

他にないようでしたら(2)報告事項「②「平成30年度当初予算の概要について」を了承することとします。

(3) その他

①次回の地域協議会の日程について

○五賀会長

では次に(3)その他①次回の地域協議会の日程について事務局より説明を求めます。

○鹿島区地域振興係長

次回の地域協議会の日程について日時は3月23日(金)午後3時00分からを事務局提案として上げさせていただきます。

○五賀会長

皆さん、事務局から提案のあった意見で何かありますか？なければ、提案

のとおり実施することとします。

○五賀会長

その他皆さんから何かありますか？

○丹野副会長

3月23日が平成29年度最後の会議になりますね。

○事務局

はい。

○五賀会長

その他委員から何かございますか。なければ、これを持ちまして本日の議題は全て終了しました。長時間にわたりご苦労様でした。

6 閉 会

以上のとおり相違ありません。

会 長

五賀和雄

会議録署名人

前田典郎

会議録署名人

丹野常昭